

金沢学院大学大学院

2025(令和7)年度 入学者選抜試験問題(Ⅰ期)

2024年9月7日(土)実施

経営情報学研究科経営情報学専攻
博士前期課程

小論文

注意事項

- 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 解答は、解答用紙(提出用)に書きなさい。
- 問題冊子・解答用紙(提出用)に受験番号・氏名を記入しなさい。
- 解答用紙には、選択した問題番号を記入しなさい。
- 試験終了後、問題冊子・解答用紙(提出用)・下書き用紙を回収します。

受験番号	
氏名	

次の問題 1 ~ 4 の中から、1つ選んで答えなさい。

問題 1

国境の「堀」があたかも国内の県境のように低くなつて、ヒト、モノ、カネ、情報が地球規模で自由に行き来する経済のグローバル化は、「光」と「影」の両面を持っていると言われています。経済のグローバル化の現状について論じなさい。

問題 2

マイケル・タッシュマン (Michael Tushman) とチャールズ・オライリー (Charles O'Reilly) によって提唱された「両利きの経営」 (Ambidextrous Organization) という考え方について、その概要を説明しなさい。また、なぜ、企業がいま特に「両利きの経営」に注力するべきなのか、その理由を説明しなさい。

問題 3

資産、負債はその流動性、債務弁済能力の観点からそれぞれ大きく二つに分類される。そのそれぞれ二つの資産、負債が①どのようなものであるかを簡潔に具体例も交えて説明したうえで、②その分類基準（二つ存在する）が「企業会計原則」においてどのように適用されているかを説明しなさい。

問題 4

大規模言語モデル (Large Language Model) が我が国産業の DX (デジタルトランスフォーメーション) に与える影響について、一つの産業分野をとりあげて、可能な限り具体的に論じなさい。

